

# 鹿糠さんが特選に

## 観光PRなどに広く活用



**特選** 青い海から白いやませ (右上) が引いていく光景をとらえた作品「清涼のネダリ浜」



**準特選** 断がいをやませが包み込む幻想的な作品「ヤマセのアンモ浦」



**準特選** 砂浜で遊ぶ子どもと岬を包むやませが印象的な「新涼の普代浜」



鹿糠麦童さん

村ヤマセ写真コンテスト(村観光イベント実行委員会主催)の審査会が10月18日開かれ、特選に久慈市の鹿糠麦童さん(59)の「清涼のネダリ浜」が選ばれました。入賞

して行われ、文化庁が農林水産関連の文化的景観の重要地域に選定した「黒崎のやませ」がテーマ。村や久慈市のほか東京都、宮城県などから11人、計42点の応募がありました。やませは梅雨から盛夏期に東北地方沿岸に吹く冷湿な北東風で「黒崎のやませ」は野田湾から黒崎にかかるものを含みます。

り立つ断がいをやませが白く包んだものや、普代浜で遊ぶ子どもとその先のやませをとらえた力作がそろいました。特選に選ばれた「清涼のネダリ浜」は海の青とやませの白のコントラストが鮮やかで、やませが海から引いていく様子を見事にとらえた作品。鹿糠さんは準特選、佳作を含め計3点が入賞しました。

審査会は桎屋伸夫助役、国立公園を管理する環境省自然環境局、村内の写真店関係者ら7人が審査。応募作品は、切表彰式は11月5日、村自然休養村管理センターで行われ、入賞者の皆さんそれぞれに、賞状、村特産品、国民宿舎くろさき荘の宿泊券が贈られました。特選を除く入賞作品は次のとおりです。(敬称略)

◇**準特選**▽福田絹子(宮城県仙台市)「ヤマセのアンモ浦」▽鹿糠麦童(久慈市)「新涼の普代浜」◇**佳作**▽田村吉松(久慈市)「梅雨晴れ」▽田名部栄作(同)「黒い雲のジュウタン」▽鹿糠麦童(同)「爽涼のアンモ浦」